

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 3 年 4 月 1 日

事業所名 わんすてっぷ

保護者等数(児童数) 49 回収数 41 割合 83.6 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからな い	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	39	2	0	0		活動エリアを工夫して少しでも快適に過ごせるよう努める
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	40	1	0	0		既定の人員に何名補充するかは利用人数に応じて今後も判断する
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	36	5	0	0		構造上難しい箇所を除き、安全に配慮した改修を今後もおこなう
適切 な 支 援 の 提 供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	41	0	0	0		アセスメントで個々のニーズを聴き取り専門的視点で計画を立てるよう今後も努める
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	41	0	0	0		今後も一定期間を目安にプログラムの立案担当者を入れ替える
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	7	20	14	0		交流をもちたいという声がない為、現在も企画がない
保 護 者 へ の 説 明 等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	41	0	0	0		今後も丁寧な説明を心掛ける
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	41	0	0	0		今後も連絡帳や送り時の対応から共通理解を図る
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	41	0	0	0		事業所内相談やペアトレで今後も家族支援をする
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	9	18	14	0		ニーズがないため大きな組織ではなく小集団の関わりとして就労Bカフェでイベントを継続する
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	38	3	0	0		今後も苦情になる前の段階で日常の意思疎通を図り保護者の立場に立った視点を持ち続け且つ苦情が言える関係構築をする
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	41	0	0	0		連絡帳や電話だけでなくメール対応にも努めている
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	40	1	0	0		QRコードでホームページへのアクセスを簡単にしたり、法人として毎日ブログ更新を行なっている
14 個人情報に十分注意しているか	41	0	0	0		十分な注意に値する対応を実行する	
非 常 時 等 の 対 応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	36	5	0	0		緊急時や感染症等の対策をブログに掲載する等、今後も周知を続ける
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	34	7	0	0		アセスメント時に防災のことや感染症対策を話す、ブログに掲載する等、今後も周知を続ける
満 足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	39	2	0	0		利用者が楽しみにできるような取り組みを考えて実行する
	18 事業所の支援に満足しているか	41	0	0	0		更に満足度を高めていただけるよう努める

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。